

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

老化ストレスによる運動器老化の 機構解明研究

老化ストレス応答研究プロジェクトチーム

清水 孝彦プロジェクトリーダー

2024年3月19日(火)15時00分～

第1研究棟2階大会議室

運動器（骨、関節、筋肉など）は身体活動に関わる組織で、運動（機械刺激）が恒常性維持に重要な役割を担う。機械刺激は様々な変化を組織・細胞に与えるが、活性酸素種（ROS）制御も含まれる。またROS制御破綻（酸化ストレス）は老化の主要因と言われる。本セミナーでは運動器加齢や機械刺激によるROS制御とともに、酸化ストレスモデル系や老齢マウスでの運動器変化の解析例を紹介する。運動器老化におよぼす酸化ストレスの寄与を、ミトコンドリアや統合的ストレス応答の視点から考察したい。また、共同研究として、機能性食品素材による低栄養モデル改善例なども研究紹介する。

座長：清水孝彦 プロジェクトリーダー
連絡先：GSRCセンター長室(内線5002)